

単元名：交流校の歓迎会で自己紹介																																	
科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー																												
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-																												
話題分野	自分と身近な人びと	言語レベル	1	必要時間数	4～6時間																												
I 単元目標																																	
<p>来日した中国の交流校の高校生を歓迎する会を開き、自作の名刺を渡しながら中国語で簡単な自己紹介をし、相手のことや家族のことを尋ね、メールアドレスを交換して、今後の交流につなげることができる。</p>																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>言語</th> <th>文化</th> <th>グローバル社会</th> <th>学習者</th> <th>教室外</th> <th>他教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わかる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>できる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>つながる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる							できる							つながる						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																											
わかる																																	
できる																																	
つながる																																	
言語領域	文化領域	グローバル社会領域																															
<ul style="list-style-type: none"> ◆あいさつと自己紹介ができる。 ◆情報(名刺)カードを作ることができる。 ◆情報カードを読み取ることができる。 ◆他人を紹介する資料の作成し、発表することができる。 ◆初対面の相手とコミュニケーションできる。(コミュニケーション・ストラテジー) ◆交流会で学習対象言語等を使って積極的に相手と交流することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日中の家族呼称の違いを比較し、理解できる。 ◆訪問時の手土産について、日中文化の比較ができる。 ◆同世代として、将来就きたい職業や卒業後の進路について、共通性も含めて比較し、分析することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆名刺に載せる情報や交流会での質問の適不適について考えることができる。(高度思考) ◆交流会の様子はビデオや写真に撮って記録として残し、見やすい形に整理して、交流相手の高校生も見られるようにする。(情報活動) ◆一人っ子政策から少子化の問題が、日中の社会に存在していることを理解することができる。(知識理解) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 																															
コミュニケーション能力指標	<p>【自分と身近な人びと】</p> <p>1-a.名前(姓名)や属性(高校生、学年、年齢、誕生日など)を、言ったり尋ねたりできる。 1-b.家族構成(何人家族で誰がいるか)について、会話したり、書いて説明したりできる。 1-c.簡単な自己紹介(姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など)を、口頭でまたは書いてすることができる。 1-d.携帯番号やメールアドレスを、口頭で伝えあうことができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>																																
II 評価																																	
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																														
<ul style="list-style-type: none"> ◆決まり文句であいさつをする。(発音の正確さ、メッセージの伝え方の適切さ) ◆名刺(情報カード)を作る。(内容の適切さ、表記の正しさ) ◆サンプルを参考にしながらワークシートを使って自己紹介の原稿を作る。(情報の量、独創性、表現の適切さ、表記の正確さ) 			<ul style="list-style-type: none"> ◆交流会で名刺交換した相手について紹介する。(表現の適切さ、発音の正確さ、相手への理解度) ◆交流会のビデオを見て自己評価を行なう。(交流態度、発話の多さ、表現・発音の正確さ、コミュニケーション・ストラテジーの使い方) 																														

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆二人以上一組で、簡単な自己紹介をする。 それを事前にもらったワークシートに記入して、他のグループに移り、練習していた相手を紹介する。【1-a】</p> <p>◆事前に配付されたか、あるいは選んだ絵カード(年齢、学年、誕生日、趣味の情報が反映できる)に書かれているキャラクターに成りきって、自己紹介をする。【1-a】</p> <p>◆事前に用意した写真(友人か家族あるいは漫画のキャラクターの絵を相手に見せながら、他己紹介する。【1-a,b】)</p> <p>◆携帯に相手の番号やメールアドレスを入力するかあるいはメモをする。【1-d】</p> <p>◆クラスでお互いに誕生日(あるいは一番好きな数字)を聞きあい、一番多い月(数字)でグループを作り、そのグループの大きさを競う。【1-a】</p> <p>◆星占いで使う12星座について、どの期間に生まれればどの星座かという情報と、その星座の中国語名を配布しておき、クラスの中で誕生日を聞いて回らせ、自分と同じ星座に属する人を見つけて中国語で報告させる。【1-c】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力</p>	<p><場面状況> A高校では、来日する中国の交流校の高校生を歓迎する交流会を開くことになった。A高校は、3か月後に交流校を訪問することになっている。</p> <p><活動の流れ> 中国語で名刺(情報カード)を作る。名刺にどのような情報をどのような順序で入れるかを中国の名刺(実物)などを参考にしながら話し合う。中国の名刺交換のマナーについて話し合う。交流会での質問について、質問内容の適不適を話し合う。ロールプレイで名刺交換や質問練習を行う。</p> <p>交流会の当日、作成した名刺を利用しながら、ペアでそれぞれの名前や学年、趣味、家族などについて紹介し合う。帰国後も連絡がとれるように、お互いのメールアドレスを交換する。3か月後の訪中の際にお土産の準備がしやすいように相手の家族構成や家族の好きなものについて尋ねる。交流会の様子はビデオや写真に撮って記録として残す。報告会を行い、名刺交換した相手をクラスメイトに紹介する。交流会の様子は撮影したビデオ、写真をデジタルフォトサイトでまとめ、中国語のキャプションをつけて中国の交流校の生徒たちも見られるようにする。</p> <p>ヒント☞ ◆中国の高校生を迎えられない場合は、中国の高校生役(自己紹介用の情報をカードに書いておく)を決め、ペアになり教室内でロールプレイを行う。</p>	
<p><使用教材・教具> カード(名刺)・模造紙・マジックペン、カメラ、ビデオ、パソコンなど</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 您贵姓?/你叫什么名字?/我姓山田。/我叫山田太郎。/你是学生吗?/我是高中生。/这是(他是)我爸爸/我是札幌国际高中的学生/你是几年级的学生?/我上三年级。/你今年多大(了)?/我十六岁。/你的生日是几月几号?/我的生日是八月二十二号。/你家有几口人?/我家有四口人。/都有谁?/有爸爸、妈妈、两个哥哥和我。/你有兄弟姐妹吗?/我没有兄弟姐妹,我是独生子。/你有姐姐吗?/我有一个姐姐。/我属猴,特别喜欢运动。/我是日本人,我叫山田拓哉。我家在东京。我喜欢旅游。</p> <p><表現のポイント> 人称代詞、姓名の尋ね方・答え方、A“是”B、構造助詞“的”:名詞+“的”+名詞、名詞述語文、数詞(基数)、年齢の尋ね方・答え方、月日の尋ね方・答え方、疑問詞“几”“多少”、動詞述語文:“有”及び“没有”、“吗”疑問文、反復疑問文、範囲を表わす副詞“都”、数量詞“一个”、“三口”、疑問詞“什么”、動詞述語文:“是~”、“姓~”“叫~”、“属”+干支、“在”+場所、“喜欢”+動詞+目的語</p>	<p>姓、叫、姓名、名字、外号、日本人、中国人、家里人、家庭、家、家族に関する語彙(爷爷、奶奶、老爷、姥姥、爸爸、父亲、妈妈、母亲、哥哥、弟弟、姐姐、妹妹)、日日に関する語彙(年、月、号、日)、生日、岁、大学、高中、初中、小学、年级、学生、高中生、初中生、中学生、大学生、小学生、老师、干支に関する語彙(鼠、牛、虎、兔、龙、蛇/小龙、马、羊、猴、鸡、狗、猪)、猫、小鸟、鱼、乌龟、只、口、家庭主妇/专职太太、職業に関する語彙(公司职员、银行职员、教师、护士、医生、大夫、律师、空姐、厨师、工程师、经理、主持人)など、工作、爱好、喜欢、趣味に関する語彙(打球、排球、网球、棒球、羽毛球、保龄球、乒乓球>、踢足球、游泳、滑雪、滑冰、滑旱冰、唱歌、看电影、看书、听音乐、弹钢琴、吉他、古筝)、拉<小提琴、中提琴、大提琴、二胡>、学书法、跳舞、旅行)、想、要、当、将来、理想、未来、梦(梦想)、お土産に関する語彙(本子、词典、点心、挂饰、绒布娃娃、T恤衫)など</p>	<p><事象> ◆名前の呼び方(愛称の付け方) ◆第一人称の呼び方(敬語) ◆家族構成(核家族、一人っ子政策) ◆お土産の習慣 ◆就職事情 ◆自己紹介の終わり方</p> <p><事象のポイント> ◆家族に対する意識についても比較してみる。 ◆中国の一人っ子政策について理解する。 ◆何をお土産にするか(食べるもの、実用的なもの、記念になるものetc.)、お土産をいつ渡すか(相手に会ったらすぐか、帰る時か?)など、日中の相違について知る。 ◆同世代として、将来就きたい職業や卒業後の進路についてどのような考えをもっているのか、共通性も含めて比較する。 ◆「どうぞよろしくお願いします」は、“请多多关照”と完全対応するかどうか考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
交流校の高校生	社会	